

みてね展だより 創刊号



2020年9月15日 発行

文責：アートでつなぐユニバーサルデザインの会

コロナ禍の中、皆様には無事にお過ごしのことと思います。

自粛の連続で、ほとんどの行事が中止に追い込まれ、今年の「描いたよ！みてね展」も中止になりました。このままでは、皆様との繋がりも希薄になってしまうのでは？との思いもあって、「みてね展だより」を不定期ではありますが発行することになりました。このたよりが皆様との繋がりに役立てば幸いです。

2021年のみてね展

7月27日(月)久しぶりの会合を開き、来年の「描いたよ！みてね展」開催に向け活動を再開しました。そして**来年の開催日を11月14日(日)～28日(日)に決めました。**

その間、皆様との絆を繋ぐために「みてね展だより」で活動内容や情報の共有、進捗状況などをお伝えしていければと思います。

2020年の活動

●2月6日(木)～11日(火)

九州芸文館(筑後市)のエントランスギャラリーにて「どうぶつ 描いたよ！みてね展」を開催しました。



公益社団法人 福岡県獣医師会様より会場を準備することのご提案を頂き、大淵孔遠さんの絵を中心に どうぶつ作品 を展示させていただきました。初めての町外進出でした。また平野りょうくんのどうぶつたちのイラストをTシャツにプリント(上図写真真緑のTシャツ左胸の白い部分)し、販売してくれました。

公益社団法人 福岡県獣医師会の上部組織である日本獣医師会は「動物と人の健康は一つ、そしてそれは地球の願い」という活動方針＝One Healthの理念で活動されており、今回の展示会も One Health の推進活動の一環でした。

●10月4日(日)にも福岡県主催で「ワンヘルスフェスティバル」というイベントが九州芸文館にて開催予定で、私たちも「どうぶつ 描いたよ！みてね展」として参加の予定です。都合のつく方は見に行ってくださいと嬉しいです。

※ 九州芸文館の住所 筑後市津島 1131 番地 (JR 筑後船小屋下車 徒歩 1 分)

創刊号を記念してプレゼント

2018年に作成した「伝えたい！みてね展の歩み＝第5回までのダイジェスト」のDVDと手作りマスクをお届けします。DVDを見て、みてね展を思い出し、次回の参加意欲が持続できれば嬉しいです。

そしてみてね展の事を知らない人に見せていただき仲間を増やしていただければ最高です。またいつまで続くかわからないコロナ対策に、心をこめて作った手作りマスクが少しでもお役に立てれば嬉しいです。



出展者紹介 つぼみさん

昨年、こども支援ルームわかばさんの系列、こども支援ルーム「つぼみ」さんを見学させていただきました。今年の「描いたよ！みてね展」は中止になりましたが、「作品はできてましたよ」との連絡をいただきましたので。この紙面上でご紹介します。



夏のイメージで、うろこの部分や目玉を子どもたちと一緒に貼りました。とっても涼しげな魚たちです。

こども支援ルーム「つぼみ」さんのホームページより抜粋 児童発達支援

児童福祉法に基づくサービスの一つ。0歳から小学校入学までの未就学児が対象で、障がい児だけではなく発達の遅れが気になるお子さまが対象。療育手帳（愛護手帳）などの交付を受けていなくても、お子さまに療育が必要かどうか判断の基準とされており、お住まいの自治体が「療育が必要」と判断すればご利用頂けます。

放課後等デイサービス

児童福祉法に基づくサービスの一つ。6歳～18歳までの小学校入学から高等学校を卒業するまでのお子さまが対象。子どもの状況次第では、20歳まで放課後等デイサービスが利用できます。

出展者紹介 大淵孔遠さん

2月に芸文館に来場された方が鯉の絵を大変気に入って下さいました。家に飾りたいとの申し出があり、10号サイズの鯉の絵を描きました。カープファンと言う事でしたので円の中には宮島、星の中にはうお座、鯉の中にはカープちゃんを書き入れました。

とても喜んでくださいました。

孔遠さんからのメールより

